

平成27年3月11日（水曜日）

午前10時3分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告（案）について
 3. その他
-

出席委員（16人）

委員	長	重松	幸次郎
副委員	長	宮原	義久
委員		緒嶋	雅晃
委員		外山	三博
委員		坂口	博美
委員		丸山	裕次郎
委員		中野	一則
委員		黒木	正一
委員		岩下	斌彦
委員		二見	康之
委員		鳥飼	謙二
委員		井上	紀代子
委員		高橋	透
委員		新見	昌安
委員		西村	賢
委員		前屋敷	恵美

欠席委員（1人）

委員		井本	英雄
----	--	----	----

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

政策調査課主査	黒田	裕司
政策調査課主任主事	日高	壮

○重松委員長 それでは、ただいまから人口減少・地域活性化対策特別委員会を開会いたします。

協議に入ります前に、委員の皆様にご協力をお願いいたします。本日で、東日本大震災発生から丸4年が経過いたしました。そこで、委員会として、震災で亡くなられた方々の御冥福を祈り、ただ今から黙祷をささげたいと存じます。皆様の御起立をお願いします。黙祷。

〔黙祷〕

○重松委員長 黙祷を終わります。御着席ください。

それでは、協議に入ります。本日の委員会の日程についてであります。お手元に配付の日程（案）をごらんください。

本日は、「委員会報告書」と「委員長報告（案）」について御協議いただきたいと思っております。このように取り進めてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○重松委員長 それでは、そのように決定いたします。

それでは、協議に入らせていただきます。まず、協議事項（1）の「委員会報告書」についてです。委員会報告書につきましては、既に皆様の御了解をいただいているところでありますが、3月13日の定例会最終日に、議場にて2つの特別委員会報告書を合冊して配布させていただきますので、御了承をいただきたいと思っております。

次に、協議事項（2）の定例会最終日の本会議で行います「委員長報告（案）」についてであります。

委員会報告書を要約した形で作成したものをお配りしております。この後、皆様に御意見をいただきたいと思っております。暫時休憩します。

午前10時3分休憩

午前10時5分再開

○重松委員長 それでは、委員会を再開いたします。

皆様方から御意見がございましたら、お願いいたします。

○鳥飼委員 2ページの中段あたりで、「子どもを産むのをためらっているのは、保育料の負担が大きな理由ではないか」との記載がありますけれども、この文章の前に、「子育て費用の全体、とりわけ保育料」といった書きぶりを加えた方が流れとしてはスムーズになるのではないかなと思います。

それと、その下の諸外国のところでは、多様な結婚の形態が認められているということも一つあるのかなと。まあ、これは議論が済んだところですけども。

それともう一つ、4ページのところですけども、こういった議論はしなかったのではないかなと思うんですが、多良木町に行きまして、小学校再開の件について調査して、一同感心したところなんですけれども、廃校を活用しようというのが一つ大きな流れとしてあるわけですが、廃校にならないような支援というのものないといけないのかなと。廃校になる前段階として。そのような議論をここでしたかの記憶はあまりないのですけれども。

廃校になってしまえば、子どもがやっぱりそこから出て行くというのは当たり前ですよ。雇用と医療と教育が無ければ、そこに人は住まないわけですから。

どうしても廃校になってしまった場合は、このように利活用の取り組みになるかとは思いますが、ならないための支援も大きな課

題かなと思いました。

○二見委員 私も同じ意見で、記憶に残っているのは、三股町の取組なんですよ。都城市に隣接している町の部分、そして、中山間地の山の部分がある。その山部分の地区である宮村・長田・梶山という人口が減っているところに対し、どうやったら若い人達が住めるのかということ町をの施策として進めていらっしやった。

行政というのは、公平で無くてはならないという一つの原則があるかとは思いますが、そうじゃない取組をやっていたというのは、私は非常に良い取組だと思えました。

都城市にしても、中心市街地もあれば、中山間地域もたくさん抱えているので、人口が減っているところに対し、どういう手立てをしていくのかという各市町村のグランドデザインというのをしっかり作らなければならない時期なんだというふうに思います。

やっぱりここは県の方に、しっかり中山間地域に対する支援として、積極的な取組というものをぜひお願いしたいという要望をあげていくべきなのかなというのが1年間の活動を通じて感じたところでした。

○外山委員 細かいところですが、4ページの5行目に「県庁において移住対応」という記載がありますが、一般的には県庁と云ったら建物を指すような気がして。これはどうですか。「県において」という言い方ならわかるが「県庁において」は初めて聞いた気がする。どうなのかな。一般的に使うの。

○坂口委員 一般的には使わないのではないかな。

○重松委員長 「県において」ですね。

○外山委員 それから、何カ所か同じ記載があるが、その下の行に「検討していただくよう要望します」とあるが、議会の報告としてこの言

いはちょっといかなものか。議会が言う発言としては「検討するよう」の方が良いと思う。他にも同じような記載があるが、あまりにへりくだりすぎているのではないか。

○重松委員長 言い回しを変えろということですね。わかりました。

○坂口委員 鳥飼委員や二見委員の発言もありましたが、最終的な要望を入れるとしても、委員会の場で発言したことを整理して盛り込まなければ、委員会として執行部を呼んで協議する意味がないものですから、あくまでも議事録から拾って、発言したことにこだわるべきだと思う。それらを踏まえて、委員会としては、かくかくしかじかを要望するという事。

○重松委員長 そのようにいたします。ほかはございませんか。よろしいですね。

それでは、ただいまの御意見を踏まえまして、報告を行いたいと思いますが、時間的な猶予もございませんので、案文の修正は正副委員長に御一任いただくということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○重松委員長 それでは、そのように決定いたします。

最後になりますが、協議事項（3）のその他で委員の皆様から何かございませんか。

それでは、ないようですので、これで当委員会の全ての議事を終了したいと思います。閉会にあたりまして、正副から一言御挨拶を申し上げます。

まずは、宮原副委員長にお願いしたいと思います。

○宮原副委員長 皆さん、本当にご苦労様でした。これだけの数の委員でいろいろ調査をさせていただきまして、初めは少し人が多すぎるの

ではないかという話もあったのですが、最終的には良い委員会であったというふうを考えているところであります。

人口が減少しないように、そして、地域が活性化するようにという目的を持って、今日まで特別委員会が活動できたと思っています。人口が110万人を切ったという話もありますが、できればこの活動が、人口が増える政策を今後も皆さんと共に進めて行くものになれば良いかなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

立派な委員長のもとで副委員長を務めることが出来たのも、皆様達の力添えがあったからだというふうに思っております。本当にありがとうございました。（拍手）

○重松委員長 続きまして、私からも一言御挨拶を申し上げます。

本当に1年間御協力をいただきましてありがとうございました。

今、宮原副委員長からもお話がありましたが、私も初めて委員長を拝命しまして、本当に皆様に支えていただいたこと、また、いろんな御意見をいただきましたことを本当にありがたく思っております。

人口減少、地域活性化は、本当に今県政が抱える大きな課題でありますし、また、これを克服することが地方創生ということ进行全面に打ち出して政策を打っていかなくてはならないという大きなテーマでございました。

現地調査等を通じて、皆様から御意見をいただき、このような報告書ができました。これをしっかりベースにして、次の政策に反映させていかなくてはならないと思います。改めて感謝申し上げます。

また、これからもさらに御意見、御指導、御

平成27年3月11日（水曜日）

鞭撻を賜りたいと思います。

本当に1年間ありがとうございました。(拍手)

○重松委員長 それでは、以上をもちまして、人口減少・地域活性化対策特別委員会を終了いたします。

委員の皆様におかれましては、1年間大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

午前10時19分閉会